

2年連続19回目の出場決定!

経スボ



6月16日(西京極) 伝場にて、第45回西日本陸上競技選手権大会が開催された。この大会は、西日本地区予選を通過した選手たちによる実戦練習である。毎日朝6時半起床、7時半出発で、約1時間の車旅後、8時半に会場着。午前中の走り込みと午後の競技会場観戦が主な内容となる。午後は、各自の競技会場にて走り込みを行った。午後は、各自の競技会場にて走り込みを行った。

選手VOICE

選手のみならず監督・コーチ・父兄の方々、応援してくださる皆様の力もあり、全日本出場を果たすことが出来ました。感謝の気持ちで一杯です。本戦では関西1位を目指し、また自校の櫻を最後までつなぎ、つながる

精一一杯頑張りますので、応援のほど宜しくお願ひ致します。
(主将 富山 恭平)

私達は全日本大学駅伝出場だけでなく、上位2チームに与えられる「出雲全日本大学選抜駅伝競走」への出場を目指しております。しかし、出場権を獲得した関西学院大学にわずか44秒差で出雲大学駅伝の出場を逃し、非常に悔しい思いです。選手たちには、主力の最上級生たちが就職活動や教育実習などで精神的に不安定な中、全員が一丸となつてそれを補い、出場権を獲得してくれたことを褒めてやりたいと思つております。本番に向け今まで以上に勝利への意識改革に努め、応援して頂いている方々へのご期待に添えます。ようこそ選手共々頑張ります。引き続きご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致しま

見せた。北原はメンバーの中では唯一の1年生。走る前は緊張している様子が伺えたが、最後まで粘りを見せた。

3組目は、主将の富山と津田が、富山は主将として責任感が人が一人一倍強く、一時先頭に出場面も見られたものの、終始周囲の状況を見ながら冷静な走りを見せた。津田は、主将の静かな走りを見た後ろについて走り、最後までは富山の後ろについて走り、最後まで粘りをみせて好タイムでゴールした。

本・最終の4組目には、エース谷本は登場。エース谷本は、チームナンバー1のタイミングでゴールした。為石はチームナンバー1のスピードをもつ。中盤、集団から離されはしたが、脅威のラストスパートをみせ、エース谷本とほぼ同タイムでゴールを駆け抜けた。溝渕は、

競場此の大会は各学年8名の合計タイムが出て、上位は各学年10名が出て、次に8名が出て、駅西本戦2戦で得点を競う。この結果は、優勝10人、2位は11人、3位は12人、4位は13人、5位は14人、6位は15人、7位は16人、8位は17人、9位は18人、10位は19人である。

第4回全日本大学駅伝対校選手権大会に出場できることをご報告させて頂きますとともに、応援して頂いております畠田理事長・徳永学長を初め、応援頂きました多くの方々に感謝の気持ちをこめて厚く御礼を申し上げます。

鶴谷監督談話

陸上部全日本

発刊：大阪経済大学
スポーツ文化振興室

溝淵	為谷	4	津富	3	北山米	2	大松	1
大阪	石本	組目	田山	組目	原口	田	組目	組目
経済	勇太	圭祐	恭平	俊幸	良輔	大輝	健太	良祐
大学	旭洋							
(総合)	(大)	(大)	(大)	(大)	(大)	(大)	(大)	(大)
第4位	3年	(4年)	3年	(4年)	1年	(3年)	4年	(3年)
	分	分	分	分	分	分	分	分
	52	40	39	33	19	233	934	0135
	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒
	62	93	64	71	91	039	619	3109